

※赤字（R4）緑字（R5）、青字（R6）黄色字（R7）の部分が変わりました。

令和7年度 野木町立佐川野小学校 学校経営計画（案）R6.12

学 校 教 育 目 標	
訓蒙館の伝統を受け継ぎ、夢や目標をもってたくましく生きる子ども ・よく学び 自ら考える子ども ・やさしく 思いやりのある子ども ・よく遊び 元気な子ども	
めざす子ども像	めざす教職員像
自ら考え、人とつながり、目標に向かって 挑戦し続ける子	・人間性豊かで信頼される教職員 ・児童一人一人の豊かな自己実現を支援する教職員 ・特性を発揮し、確かな指導力をもった教職員 ・教育的愛情と使命感をもった教職員
め ざ す 学 校 像	
・子どもたちが、この学校で学べてよかったと思う学校 ・保護者が、この学校に子どもをあずけてよかったと思う学校 ・教職員が、この学校に勤務できてよかったと思う学校 ・地域の方が、地域にこの学校があつてよかったと思う学校	

○ 学校経営の理念

- (1) 安全かつ安心な学校づくり
- (2) 一人一人の児童の「学び」を大切にする学校づくり
- (3) 教職員が共に学び、共に育ち合う学校づくり
- (4) 児童、保護者、教職員、地域が誇りにできる学校づくり

○ 学校経営の方針

(1) 教育活動の活性化と充実を図る。

- ① 児童の将来を見通した、明るく活力ある教育活動の推進
- ② 教職員個々人の特性の発揮と、組織による教育活動の推進（教職員全員が、全児童の担任）
- ③ 幼保小中の密接な連携を図った教育活動の推進（幼保、小中との交流）
- ④ 学校（学年）行事等の活動内容の精選と徹底
- ⑤ 職員会議等各種会議の議事内容の精選と徹底

(2) 特色ある教育課程の編成と実施に努める。

- ① 道徳の時間を要とし、全教育活動を通した「心の教育」の充実
- ② 各教科における基礎的・基本的内容の確実な定着
- ③ 特別支援教育の充実と指導体制の確立（インクルーシブ教育システムの推進）
- ④ いじめや不登校などへの適切な対応と指導体制の整備
- ⑤ 児童や地域の実態を生かした「総合的な学習の時間」の推進（食農教育の充実・7年目）
- ⑥ 英語教育の充実（オンライン授業・海外とも）
- ⑦ ICT機器有効活用のための研究と推進（デジタル教材の活用）
- ⑧ 学びの森小学校、地域の方との交流の充実

(3) 教職員の資質の向上を図る。

- ① 教職員個々人の学校経営への参画意識の高揚と職務の厳正
- ② 学習指導要領（H29 告示）の趣旨の確実な理解に基づく教育課程の編成と実施
- ③ 教職員の資質向上のための研修体制の整備（一人一研究授業、要請訪問等）
- ④ 学校外での研修についての整備・Plantによる記録（履歴を残す）

(4) 学校内外に開かれた学校づくりを推進する。

- ① 教育の成果を「児童の姿」で発信する意識の確立
- ② 学校評価の効果的な活用（教育目標推進プロジェクトとの関連を図る）
- ③ 教職員の同僚性に基づく相互理解の促進
- ④ 「報告・連絡・相談・確認」の徹底による共通理解の促進
- ⑤ 教育活動の積極的な発信（学校HP、学校だより、学年だより等）



○ 今年度の重点・努力点（つなぐ）

佐川野っ子の合言葉 【かがやく自分を育てよう！】		
【学力UP】 よく学び 自ら考える子ども	【心力UP】 やさしく 思いやりのある子ども	【体力UP】 よく遊び 元気な子ども
★基礎学力や表現力の育成、主体的な学習習慣を身に付けさせる。（家庭学習の定着、時間管理と自主学習のすすめ） ◎「言の葉指導」の充実 ◎「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫・改善 （個別最適な学び、単元内自由進度学習の実現に向けて） ・ねらいが明確で児童の関心・意欲を高める授業の工夫（見方、考え方を働かせる） ・言語活動の活性化を図り、思考力・判断力・表現力・語彙力を高める学習指導の工夫 ・児童の主体的な学習態度・学習習慣の育成 ◎食農教育の充実（全校体制で） ◎ICT機器の有効活用 （オンライン交流・プログラミング教育・デジタル教材の活用） ◎英語教育の充実 （オンライン授業、海外と） ◎学力調査（全国・とちぎっ子等）の結果分析と指導の改善	★基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、児童理解に努め、一人一人の子どもが安心して学校生活を送ることができるようにする。 ◎道徳教育の充実 ◎一人一人を大切にする温かな学級づくり ～いじめ撲滅を目指して～ ◎時と場に応じたさわやかなあいさつの励行（伝わるまで） 「響きあう心」（野木中学区CSテーマ） ◎読書活動の推進（読書ノートに積み重ねる） （家読のすすめ、読み聞かせ） ◎心に響く児童指導 ～自力解決できる判断力と実行力の育成～ （発達支持的生徒指導） 	★健康を意識させて、健やかでたくましい体をつくらせる。 ◎めあてを明確にした体力づくり（生涯スポーツ） ◎外遊びのすすめ （ファミリー班共遊など学年を超えた遊び） ◎健康で安全な生活習慣の育成 （早寝、早起き、朝ごはん、外遊び） ◎食育の推進と感染症の予防 （農園活動を生かして） ◎保護者や地域と推進する安全（防犯）対策 
家庭・地域との連携・協働		
★コミュニティスクールによる、保護者や地域とともに子どもを育てる、地域に根ざした教育活動を実践する。 ◎地域とともに行う行事（佐川野っ子ふれあい大運動会、さつまいも苗植え、田植・稲刈り、トマト栽培、夏野菜、冬野菜等） ◎150周年記念行事「訓蒙館祭」（主な行事に150周年記念を掲げる） ◎学校運営協議会や保護者、小規模特認校推進会議からの意見を反映させた学校経営 ◎学校公開◎情報収集と発信◎ボランティアの活用◎佐川野分館、自治会等外部組織との連携 ◎民生委員、主任児童委員との懇談会◎学校関係者評価の実施と報告		
学 校 課 題 研 究		
研究主題 「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」 ～主体的・対話的で深い学びを通して～		
教職員の働き方改革		
★めざす教職員像を達成するために、職務に専念できる環境づくりを推進する。 ◎学校・学年行事の見直し ◎諸会議の内容の精選 ◎データの共有 ◎協働体制づくり ◎勤務時間管理（定時退勤や時刻を決めて退勤）◎業務改善委員会の開催（小さなことの積み重ね）		